

## NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和4年9月22日(木)	活動場所	御嶽山頂・古賀志山山頂	
活動内容	御嶽山頂の下草刈り・古賀志山頂の切り株除去			
参加者	奈良 忠男	村田 鉄三	佐野 久雄	三輪 健治
	平野 昭夫	原田 昌廣	藤沼 力	岩田 雄一
	箕輪 幹夫	池田 正夫	戸崎 博之	



今回は、御嶽山頂から望む西北部の日光連山、北方の高原山から那須連峰を広角に望めるように下草刈りを行った。(左写真)

この地は、地元古賀志町の御嶽山氏子の管理下にある場所である。氏子の了解を得て繁茂している下草刈りを行った。

御嶽山頂は本県の東西南北を俯瞰できる唯一の場所である。ここに立てば、我が身は恰も本県の真ん中に居るかの如き錯覚に陥る場所である。

古賀志山頂には数年前、ヒノキの大木が風害により途中から倒れ掛かり危険な状況下にあったために地主が根元から約1・5m残して切り倒した経緯がある。(左写真)

ここには過去に神仏を祀った経緯はなく念のため、この切り株は御神木ではない。

登山者がここに賽銭箱などを置いたために事情を知らない初めての登山者は、この切り株を拝むような現象まで見られていた。

ごく最近、ここに手作りの仏像のような置き物が置かれていた。地主の意向を伺うと、「この切り株を根元から切り倒してよい。また、このような置き物を勝手に置かないでほしい」というご意見だった。

張り紙に伐採予告を書き、伐採した後、その切株を丸太椅子に加工して休憩場所とすることにした。(左写真)

この山頂部は個人所有の山である。地主の好意によって、私たち登山者は登山を楽しませてもらっていることを忘れてはならない。

